

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                          |            |           |
|---------|--------------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 3270400967               |            |           |
| 法人名     | 有限会社 楽舎                  |            |           |
| 事業所名    | 認知症高齢者 グループホーム宇賀の杜 楽舎 ①西 |            |           |
| 所在地     | 島根県出雲市宇賀町23番地1           |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和6年11月10日               | 評価結果市町村受理日 | 令和7年3月18日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                                       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a> |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |  |  |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 コスモブレイン      |  |  |
| 所在地   | 島根県松江市上乃木7丁目9番16号 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和7年1月6日          |  |  |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

宇賀の杜楽舎の理念「入居者の方と生活を共にし、暮らしを支え命を護る」「一瞬の笑顔求めて…」が日々実践できるように取り組んでおります。西舎支援目標の「ショッピングを楽しんでワクワク気分を感じよう」を掲げ、買物に参加できるように毎日の体操や歩行運動、下肢筋体操や生活動作の向上など個別の力量を把握して支援しております。買物を楽しみや喜びにつなげることで毎日の笑顔の時間となるよう取り組んでおります。温かいお食事の提供や季節の行事、風習に合わせて思い出話をしたり歌を唄ったりすることで笑顔の溢れる時間となるよう支援し、御家族様にも喜んでいただける様に支援しています。地域にも積極的に出掛け、ドライブ、地域行事への参加をすることで社会との繋がりを大切にしながら支援へ取り込めるように取り組んでおります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成18年に宇賀の杜の2つのユニットがスタートし、その2年後のもう1つのユニットが加わっている。田園風景が眺められる自然豊かな場所にあり、開所から20年近くが経過する歴史ある施設である。3つのユニットを1人の管理者がまとめ、開所当初に掲げられた理念を継続し、利用者、職員共に毎年目標を掲げ、グループごとの支援目標達成の為に月間目標へと繋げられている。男性利用者や精神面のケアが必要な方が増えたり、利用者の入れ替わりがあり、今まで以上に個別援助の必要性を感じている。コロナ感染症やインフルエンザが発生して感染症対応が続く中、利用者個々のケアにあたる時間をどのように作り出すかが課題となり、業務改善の必要性から積極的な意見も多く聞かれている。今後も徐々に戻りつつある地域との交流を増やしたり、活動的な取り組みを検討したりと、複雑化する認知症に対応できるよう取り組んでいただきたい。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                                                         | 自己評価                                                                                                     | 外部評価                                                                                                          |                   |  |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|            |     |                                                                                                                             | 実践状況                                                                                                     | 実践状況                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                                                             |                                                                                                          |                                                                                                               |                   |  |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | 毎朝、申し送り時に理念を唱和しスタッフ間で共有している。また、毎月の月間目標もスタッフが交代で考え掲示して同様に唱和実践して月末には評価している。                                | 開所時に作成された理念を継続しており、それに基づいて毎月の理念を職員が順番に作成し、併せて唱和している。施設長、管理者を含め職員全員が年間目標を作り事務所に掲示し、原点に立ち返ることを大事に考えている。         |                   |  |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                          | 施設の新聞を配布している。コミセン便りを届けて頂いたり、地域の方が生け花のボランティアに来てくださったりしている。近隣の郵便局へは毎月作品を掲示させていただいている。                      | 地域の活動は戻りつつあり、文化祭には作品を展示し見学に出かけている。小学校からは福祉活動の受け入れの要請があったり、介護職を目指す学生から介護職員としてインタビューを受ける予定もある。                  |                   |  |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                        | 毎月、季節を感じる作品を利用者様と一緒に作成し、展示・理解を求めている。定期的に楽舎新聞を発送している。中学校からの寄贈があり贈呈式では日々の取り組みの発表を行った。                      |                                                                                                               |                   |  |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実態、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 会議では現況を報告し、ご家族様にも参加していただき直接意見交換や話し合いを行っている。                                                              | 定期に開催している。家族への参加をお願いするも少なめ。地域からはコミセンの館長やボランティアの方、行政からは市職員を交え行っている。利用者状況に各施設の報告事項、議題は各リーダーが毎回出しあい、意見交換に繋げている。  |                   |  |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                               | 運営推進会議に参加いただき、現状報告して意見交換やアドバイスをいただいている。困難事例や入所の相談を双方に行い、生活保護の方の支援についても相談しながら取り組んでいる。                     | 運営推進会議には毎回参加があり、専門的立場から助言を受けたり他施設の情報を得ている。生活保護担当課からは年2回訪問があり情報共有している。介護保険担当課とはメールや郵送が主で出向くことは少ないが、いい関係が築けている。 |                   |  |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束について学ぶための研修を行い、日々のケアについて話し合っている。月に1回のユニットカンファレンスや3ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会で検討している。リスクを配慮しながら「鍵をかけないケア」を行っている。 | 委員会、研修等定期に開催しているが、従来通りの読み合わせのような研修ではなく、男性への対応など利用者個々に合わせた研修になるようにしている。グレーゾーンや不適切ケアについては、事例を用いてより具体化して取り組んでいる。 |                   |  |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 研修やユニット会議を行い、日々のケアを振り返り話し合いより良いケアを目指している。                                                                |                                                                                                               |                   |  |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                    | 外部評価                                                                                                        |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                    | 実践状況                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 内部研修にて権利擁護についての研修を行い、学ぶ機会を持つようにしている。入居者様が自立した生活を送れる様、ご家族様、ケアマネージャー、看護師、スタッフで話し合い支援している。 |                                                                                                             |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 申し込みの際に困っておられる事、要望等お聞きしている。入居時に契約書等確認しながら十分に説明を行っている。また、面会時や電話での問い合わせ時には、現況報告を行っている。    |                                                                                                             |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 利用者様には日々要望を聞きながら支援を行っている。ご家族様には面会時や電話対応の時など意見や要望をお聞きし、ケアプランに反映させている。                    | 日頃の様子や行事の写真を送ったり、便りを作成している。それに加え担当から毎月の様子を手紙に書いて家族に送り、意見を得る機会としている。電話や面会時にも様子を伝えるようにしている。                   |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 朝の申し送り時や、月に1回の内部研修やユニット会議の時に意見交換を行っている。                                                 | 年度終わりに管理者との面談の機会がある。日々の検討事項については、送りノートで共有するようにして内部研修でも改善点を話し合っている。有休取得や勤務変更に対応することで、働きやすく離職に繋がらないように配慮している。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 3年に1回個人評価があり、モチベーションが上がるようになっている。有給休暇の取得を促し、リフレッシュできている。                                |                                                                                                             |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実態と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 外部研修の参加は減少しているが、月に1回の内部研修はスタッフが講師となり、テーマに沿って研修している。                                     |                                                                                                             |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 交流会や研修の場への参加は減少しているが、インターネットや広告誌などから同業者の取り組みや活動を参考にしている。                                |                                                                                                             |                   |

| 自己                  | 外部  | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                            | 外部評価                                                                                           |                   |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                     |     |                                                                                      | 実践状況                                                                            | 実践状況                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                                 |                                                                                                |                   |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | アセスメントを確認し、他の職員と共有して本人の困っていること、不安なこと、これから生活していくことの要望を汲み取り、安心感を持っていただけるように努めている。 |                                                                                                |                   |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 不安ととまどいの中、関係性を深めるため、どんな小さなことでも連絡し、スタッフ間でも共有し、安心していただけるように努めている。                 |                                                                                                |                   |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居者様と家族様が求めているサービスと必要となるサービスを見極め、柔軟に対応するよう努めている。                                |                                                                                                |                   |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 本人の出来る事を見極め、一方的ではない関係性を築くために日常生活の場面の中で必要とされる自分としての関係性を築いている。                    |                                                                                                |                   |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 常に家族様と連絡を取り、入居者の様子を共有し、家族との関係を大切にしながら支援するようにしている。毎月のお手紙に写真を添えて送付し様子を細かく伝えている。   |                                                                                                |                   |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 施設に閉じこもることなく、面会や外出を積極的に行い関係性を大事にするよう努めている。会話の中でも馴染みの人・場所の話題に触れることで思い出していただいている。 | 毎週娘さんと電話で話をする方や、高校の同級生の面会が続いている方もある。コロナ禍が続き支援を縮小していることで、閉鎖的と感じる方もあり、今年度は散歩や買い物の機会を増やすよう計画している。 |                   |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 入居者様の個性を理解して、お互いに安心して関係性を築けるような支援に努めている。共同生活がスムーズにいくように環境・活動面に配慮している。           |                                                                                                |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                                   | 外部評価                                                                                            |                                                                       |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                                   | 実践状況                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容                                                     |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所時にはアルバムを渡し、これまでの関係を振り返り、継続してご家族様や本人が必要とされることを支援できるように努めている。                          |                                                                                                 |                                                                       |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                                        |                                                                                                 |                                                                       |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 今までの生活歴や性格、環境を考え、思いや希望を優先できるよう努めている。元旦には1年の目標を書いていただきホールへ掲示し、一緒に取組めるようケアプラン作成にもつなげている。 | 今までの生活の様子から作成したアセスメントや、ここでの生活から必要性を感じたもの、お正月の書初めで書かれた言葉からも思いを感じ取り、計画に繋げるようにしている。                |                                                                       |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | アセスメントやご家族様や本人からの情報により、これまでの暮らしの把握に努めている。                                              |                                                                                                 |                                                                       |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 日々の生活の過ごし方や1日の流れを把握し、1人ひとりできることを認識し、それを活かす支援に努めている。                                    |                                                                                                 |                                                                       |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々の現状や変化に対応しつつ、より生き生きと生活できるよう常に意見交換し、現実に適した介護計画を作成している。                                | モニタリングを3か月に1回まとめ、面会時に家族に説明しサインをもらっている。コロナ禍が続く、本人、家族参加での担当者会議はできていないが、面会時や電話で意見を聞くことで計画作成に繋げている。 | 利用者本人、家族等、できるだけ多くの関係者で担当者会議を開催することで、家族との信頼関係を築き、より良い計画になるよう努めていただきたい。 |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 気づいたことを細かく記入し、気になることは共有しながら毎日の支援や計画に活かしている。                                            |                                                                                                 |                                                                       |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 色んな職種が協力し合い、本人の状況を把握し、柔軟な支援をし、ご家族様の相談にも対応できるように取り組んでいる。                                |                                                                                                 |                                                                       |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                           | 外部評価                                                                                                 |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                           | 実践状況                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し、外部との交流は控えているが、郵便局への作品展示のため、意欲を持ち楽しみながら心身の力を発揮できるように支援している。                 |                                                                                                      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | かかりつけ医の継続、1ヶ月に2回の往診、医師への24時間連絡体制がとれ、何かあれば連絡し指示を仰いでいる。家族様の意向を尊重し支援を行い、遠方で困難な方はヘルパーを利用していただいている。 | 往診可能で24時間指示が得られる施設のかかりつけ医に変更することも、今までのかかりつけ医を継続することもできるようになっているが、殆どの方が入所時に変更される。他の科については家族対応で継続している。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 日々の関わりから変化に気づき、バイタルサインの異常があれば看護師、かかりつけ医に報告し、指示に従い支援、看護にあたっている。                                 |                                                                                                      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院にあたり、カンファレンスの実施と医療機関との情報共有により入居者様、家族様が安心して治療が受けられる体制作りをしている。入院中、管理者が病院と連絡をとって情報を得ている。       |                                                                                                      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 入居者様、ご家族様の意思を尊重しながらかかりつけ医と連携し、最大限出来る事を支援している。状況や支援方法に変化がある時は都度連絡、説明し理解して頂いている。                 | 入浴は一般浴で機械浴ではない等の設備面の実情を入所時に説明している。重度に向けては医療連携ができていることもあり、その都度話し合いの機会を持ちながら、特養の申し込みの話もするようにしている。      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 緊急時マニュアルを設け、全入居者様のカルテに119シートを加え、日頃から病歴やバイタル異常値を確認している。救急対応の研修にてAED使用法、心肺蘇生法など機器や人形を使って学んでいる。   |                                                                                                      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 火災消防訓練は年2回、夜間や水害を想定した訓練を実施し避難アセスメントにより早く誘導できるように訓練している。ネームプレートを用いて地域の方にもすぐにわかるようにしている。         | 豪雨時には浸水の恐れがあるので、豪雨に対応できるように訓練を重ねている。消防の指導や地区の消防団の協力も受けながら、備蓄も整え有事に備えている。                             |                   |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                | 外部評価                                                                                                         |                   |  |
|--------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|                          |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                | 実践状況                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                   |                                                                                     |                                                                                                              |                   |  |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 人として生きる権利を持って、その人らしい生き方を尊重し、寄り添っている。一人ひとりの人格に違いがあり、静かな会話を好まれる方へは共感しあって対応している。       | この地域独特の言い方がきつく聞こえることや、何気なく使っている言葉が実情に適していないなど、会話が外部の人からどのように聞こえるのか等、研修時や朝礼で話をするようにしている。                      |                   |  |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 利用者様の食べたい料理をお聞きし、食事メニューにに取り入れたり、入浴でも希望をお聞きして入っていただいたりすることで自己決定できるように支援している。         |                                                                                                              |                   |  |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者様の思いを尊重したり、その日の体調に合わせて無理強いしない対応を心がけて支援している。                                      |                                                                                                              |                   |  |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | ご自分のヘアスタイルにこだわりのある方には、ご自分の気に入ったヘアスタイルにしている。身だしなみは、髪の毛の乱れ不釣り合いな重ね着等を整える支援をしている。      |                                                                                                              |                   |  |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | マンネリ化しないよう旬の美味しい物、懐かしい食材を取り入れた料理を提供して昔を思い出していただけるように支援している。誕生日にはご希望のメニューを聞いて提供している。 | 買い物に行ったり、地域からのいただき物を利用したり、できるだけ地域の食材を使い3食作っている。熱い物や冷たい物など好みに合わせ、できるだけ美味しく食べれるようにしている。誕生日にはお好み食を聞いて出すようにしている。 |                   |  |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 毎日の食事量、水分量を記録し摂取量の低下や体重減少に注意している。特に足のむくみや顔面浮腫に注意しながら水分量の調整を行っている。                   |                                                                                                              |                   |  |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 毎食後には全員声掛けし口腔ケアを行っている。義歯の洗浄や口腔状態を確認しケアを行っている。                                       |                                                                                                              |                   |  |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                         | 自己評価                                                     | 外部評価                                                                                                                     |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                     | 実践状況                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 声掛け誘導をなるべく同じ時間帯に行い、排泄リズムを把握しながら自立にむけた支援を行っている。           | 男性でトイレに座る習慣がない方や夜間尿漏れのある方など、個々に合わせ対応している。便秘の方が多く浣腸や座薬が必要になる為、水分摂取を含めて食事に気を付けたり、体操を取り入れたり、スムーズな排泄に繋がるようにしている。             |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 水分をしっかり摂っていただき、歩け歩け運動など行い自然に便が出るように取り組んでいる。              |                                                                                                                          |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 自分で出来る事は行っていただき、スタッフとの会話も楽しんでいただける様に支援している。              | 大きめの家庭浴槽で浴槽周りが広く、冬は温度が上がりにくい。重度で車イスの方で中に入れない場合はシャワー浴対応としている。1日おきの午前中に声がけしている。                                            |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 寝具を担当スタッフが洗濯し清潔にしている。日中は活動を促し、安眠につなげている。                 |                                                                                                                          |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 都度薬の変更など説明書で確認している。服薬時には日付や名前を声に出して確認し、飲み込まれるまで確認している。   |                                                                                                                          |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 出来る事や得意な事を把握してやりがいを感じていただき、笑顔で過ごしていただけるように支援している。        |                                                                                                                          |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一緒に敷地内を散歩して季節感や外の風を感じていただいている。一緒に買い物へ出かける支援目標を掲げ取り組んでいる。 | 施設の敷地が広く、周辺や近隣を散歩することが多い。テラスで日光浴したりお茶したり、外気に触れ気分転換できるようになっている。コロナ感染症が5類になり、ドライブや近くの道の駅に出かけており、普段見れない笑顔が見えたり、外出の効果を感じている。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                      | 外部評価                                                                                                                     |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                      | 実践状況                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 週に1回、利用者と一緒に移動販売車を利用し、好きな商品を選んでいただき支払いもされ購入している。                                          |                                                                                                                          |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 日々、面会や電話等はでき葉書も送付できるように支援して、家族様との繋がりを保てるようしている。                                           |                                                                                                                          |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日中はカーテンを開け、外の天気分かるようにしている。ホールの壁絵は季節に応じた作品を入居者様と一緒に作ったり、その季節に合った歌を唄ったり、話をしたりしている。          | 建物が道路から少し入っている為、車の騒音も少なく静かである。窓から草木など景色が見え季節感も味わえる。天井が高くホールから長い廊下も続き、前のテラスも広く開放感がある。コロナ感染症やインフルエンザなどの感染症の為、特に換気には配慮している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | ホールにはソファが窓近くに2基置いてあり、気の合った方同士で座り話をされたり、一緒に洗濯物を畳んだりして過ごしておられる。                             |                                                                                                                          |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 入居者様の状況に合わせて、ベッドではなく床に布団を敷いて寝ておられる方もおられる。毎月ご自身で塗られたカレンダーを貼ったり、家族の写真やプレゼントも飾っている。          | テレビや衣装ケース、タンス等が置かれており、1日のスケジュール、家族等の写真が壁に貼られている。季節に合わせて衣類や布団の入れ替えを家族が行い、一緒に部屋が整えられている。                                   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 前からだけでなく横からも分かる様に目線の高さに貼り紙をしている。赤テープや黄テープを利用し色でわかりやすくできるように支援している。動線の妨げにならないよう環境に気を配っている。 |                                                                                                                          |                   |